

▼利用ケース紹介

日常生活動作の向上と復職を達成したHさん

40代男性 脳出血

右上下肢機能障害2級 言語機能障害4級

目標

- ・ 昼間5～6時間活動する体力
- ・ 1人で公共交通機関を使って移動できる
- ・ 注意集中力の向上
- ・ 日常生活動作、コミュニケーション能力の改善

訓練内容

- ・ 週3回通所(家族の送迎)
- ・ 運動プログラム
- ・ 公共交通機関単独利用訓練
- ・ 集団での認知トレーニング
- ・ リハビリ専門職による訓練

6か月後

- ・ 公共交通機関を利用して一人で通所が可能に
- ・ 職場と復帰に向けて話し合いを開始

再設定した目標

- ・ 雨天時も休まず通勤できる
- ・ 自分で自分の障害を説明でき、自分に合ったやり方を実践できる
- ・ 職場の人とコミュニケーションをとることができる

訓練内容

- ・ 雨天時の通所方法の検討と実践練習
- ・ 週5日バスを使用し単独通所
- ・ 職場を想定した業務実習とフィードバック

1年3か月後

試験就労

障害者職業センター等と連携

1年6か月後

原職復帰

困り事の聴取やサポート



交通のご案内

京都市バス

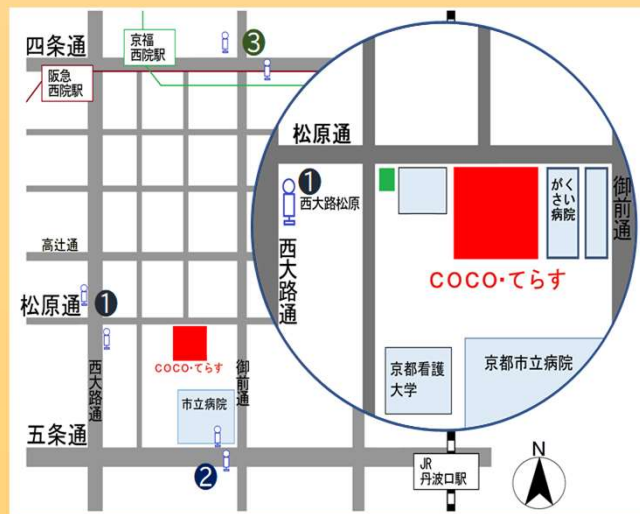
- ①「西大路松原」バス停から徒歩4分
- ②「市立病院前」バス停から徒歩6分
- ③「四条御前通」バス停から徒歩10分

阪急「西院」駅から徒歩10分

京福「西院」駅から徒歩10分

JR「丹波口」駅から徒歩15分

※駐車場はございますが、スペースに限りがありますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。



高次脳機能障害のある方のための

障害者支援施設 ご利用案内



注: 障害者支援施設は4・5階です

京都市地域リハビリテーション推進センター
障害者支援施設 ご利用窓口

(高次脳機能障害支援課)

TEL: 075-925-6256



発行: 京都市地域リハビリテーション推進センター
(令和6年3月発行)
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1番地の20
京都市印刷物第054960号

この障害者支援施設は

高次脳機能障害のある方が、
日常生活の自立や就労等の社会参加に
つながるように訓練を行う施設です。

◆対象者：

18歳以上で高次脳機能障害を有する方
※発症からの経過日数は問いません

◆定員・期間：

機能訓練 25名 最長1年6か月

生活訓練 15名 最長2年

※うち施設入所支援は定員20名

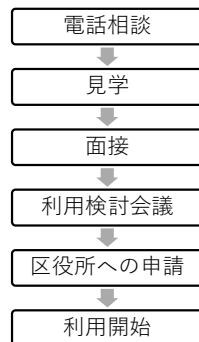
◆利用形態：通所もしくは入所

※短期入所もあります

◆利用料：

世帯の所得により異なります。詳しくはお住
まいの区役所または支所にお尋ねください。

◆利用の流れ：



◆スタッフ：

サービス管理責任者 生活支援員
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士
心理判定員 看護師 管理栄養士

※必要に応じて医師と連携します。

◆利用される方のADL（日常生活動作）状況：

歩行もしくは車椅子駆動で施設内移動や
食事が自立されていて、排泄のコントロ
ールができています。その他は見守り部分介
助で可能な方。

▼高次脳機能障害の治療の流れと施設利用時期のイメージ



『地域に帰る(地域リハビリテーションの推進)』を
モットーにしている当センターのキャラクターです

▼一日の流れ（例）

午前	7:00	起床	入所の方のみ
	8:00	朝食	
	9:20	朝礼	
	9:50	訓練（1コマ目）：運動（バランス訓練）	
	10:40	訓練（2コマ目）：筋力トレーニング	
午後	12:00	昼食	
	1:10	訓練（3コマ目）：グループ訓練（認知訓練）	
	2:00	訓練（4コマ目）：パソコン利用訓練	
	2:50	訓練（5コマ目）：自主トレーニング	
	3:30	訓練終了	
	6:00	入浴	入所の方のみ
	10:00	夕食	
		就寝	

▼新しい訓練場所（R6年1月に移転しました）

